

産学官連携研究ワークショップ開催のお知らせ（2月16日）

[[Topics](#)] 2015年02月03日

産学官連携研究ワークショップ

「海底熱水鉱床：社会を安心させる金属資源」

日時： 2月16日（月） 13時～18時

場所： 理学研究科地学棟（H-12）503号室

*自由参加です。みなさまのご来場をお待ちしております。

詳しくはポスターをご覧ください。

The poster is titled "産学官連携研究ワークショップ「海底熱水鉱床：社会を安心させる金属資源」" (Inter-university, Industry, and Government Collaborative Research Workshop "Hydrothermal Vents: Securing Metal Resources for Society"). It provides the following details:
主催: 東北大学, 海洋研究開発機構 (Organized by Tohoku University and the Institute of Oceanography)
形態: OGWAMのイベント, 東北大学ローカル実学ネットリーダー育成プログラム (Format: OGWAM event, Tohoku University Local Applied Science Network Leader Training Program)
日時: 2月16日(月)13時～18時 (Date/Time: Feb 16, Mon, 13:00-18:00)
場所: 東北大学理学部地学棟(H-12)503号室 (Venue: Geology Building (H-12) 503, Tohoku University)
The poster lists several presentations:
- 13:00-13:20: 鈴木博彦 (海洋研究開発機構) "船舶のイメージングシステム構築プログラムを用いた近代海洋探査技術「端のシナジー計画」海洋資源の成産に関する科学的研究"
- 13:20-13:40: 野崎達生 (海洋研究開発機構) "資源開発地域の成産/地球化学的特徴と資源開発プロジェクトの紹介"
- 13:50-14:10: 曾川武 (東北大) "伊豆小笠原, 本邦火山の硫黄マウンドの成生とマウンド中核生物生態系"
- 14:25-14:45: 山田真一 (東北大) "東洋圏域の多様性とその成因地質"
- 14:55-15:25: 高田雄太郎 (海洋研究開発機構) "99-Ce同位体による黒煙熱水の年代/成産の追跡"
- 15:25-15:45: 長瀬純彦 (東北大) "電子顕微鏡による硫化鉄結晶物の形態と構造解析"
- 15:55-16:15: 塚本真也 (東北大) "新田原と黒煙地帯に関する「アムレツ」産物物とホスト-産物共生地帯"
- 16:30-17:30: 野崎達生 (海洋研究開発機構) "99-Ce同位体による黒煙熱水の成産年代決定と成産の解明"
- 17:00-17:20: 小高智太郎 (東北大) "アセチド特色を有する地球における7億年前の熱水熱水活動"
A final note states: "どなたでも参加できます。参加料無料。" (Anyone can attend. Free of charge.) and provides the contact information: "連絡先: 担当 伊豆小笠原 (iizumi@tohoku.ac.jp)".

産学官連携研究ワークショップ 「海底熱水鉱床：社会を安心させる金属資源」

主催：東北大学, 海洋研究開発機構

共催：DOWAメタルマイン, 東北大グローバル安全学トップリーダー育成プログラム

日時：2月16日(月)13時～18時

場所：東北大理学部地学棟(H-12)503号室

<http://www.sci.tohoku.ac.jp/campusmap/>

セッション1: 現在の海底熱水鉱床

13:00-13:20: 鈴木勝彦 (海洋研究開発機構)

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)次世代海洋資源調査技術
(海のジパング計画)「海洋資源の成因に関する科学的研究」

13:20-13:50: 野崎達生 (海洋研究開発機構)

海底熱水鉱床の成因・地球化学的特徴と黒鉱養殖プロジェクトの紹介

13:50-14:10: 掛川武 (東北大)

伊豆小笠原、水曜海山の硫化物マウンドの進化とマウンド中微生物生態系

セッション2: 黒鉱: 海底熱水鉱床探査の手がかり

14:25-14:55: 山田亮一 (東北大)

黒鉱鉱床の多様性とその構造規制

14:55-15:25: 高谷雄太郎 (海洋研究開発機構)

Re-Os同位体による黒鉱鉱床の年代決定の試み

15:25-15:55: 長瀬敏郎 (東北大)

電子顕微鏡による硫化亜鉛鉱物の観察と鉱床探査

15:55-16:15: 塚本雄也 (東北大)

秋田県北鹿地域に産する富マンガン堆積物とポスト黒鉱熱水活動



セッション3: 地球史における海底熱水鉱床

16:30-17:00: 野崎達生 (海洋研究開発機構)

Re-Os同位体による別子型鉱床の生成年代決定と成因の解明

17:00-17:20: 小高智太郎 (東北大)

アビティビ緑色岩帯ムンロ地域における27億年前の海底熱水活動

セッション4: 総合討論

どなたでも参加できます(参加料無料)。

連絡先: 掛川武 (kakegawa@m.tohoku.ac.jp)

